授業科目名	高齢者福祉	単位数	2
担当教員名	竹田久美子	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係
問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。
共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ
１．日本の人口の将来推計と社会変容について理解できる。
２．高齢者を取り巻く諸問題（健康と介護、経済生活、生きがいと社会参加など）について理解できる。
３．介護保険制度の仕組みとサービスの種類について理解できる。
４．高齢者を支える地域包括支援センターと地域包括ケアシステムの役割について理解できる。

授業の概要
日本社会は人口構成の大きな変化とともに家族形態や社会全般の変化が起きつつある。これからの日本は平均寿命の延伸による高齢化の進展が加速、さらに若者の未婚化に伴う少子化が進み少子高齢多死社会になる予定である。また、高齢化の進展とともに都市部での高齢者の単身世帯の増加、都市部への人口の一極集中と地方の人口減少、過疎化が深刻な課題となっている。これらの実態を理解するとともに今後の高齢者の生活設計、生きがいと社会参加のあり方について考究する。
また、認知症や慢性疾患による健康上の課題も介護ニーズの多様化につながり、介護保険制度による介護サービスの役割も重要となる。介護保険により提供される介護サービスの概要と役割を理解し、地域包括ケアシステムと専門職による多職種連携の在り方を学修する。

授業計画
第１回：日本の人口形態と高齢社会
第２回：高齢社会と少子化との関連
第３回：高齢者の就業と年金
第４回：サクセスフル・エイジングとは何か
第５回：老後の生活設計　①年金・経済生活　　健康・フレイル予防
第６回：老後の生活設計　②社会貢献・生涯学習
第７回：高齢者の介護と介護離職
第８回：介護保険制度の概要　要介護認定のしくみと介護サービス
第９回：介護保険制度と介護サービスの概要
第１０回：介護保険による居宅サービスの種類とサービス内容
第１１回：介護保険による地域密着型サービスの種類とサービス内容
第１２回： 介護保険による施設サービスの種類とサービス内容
第１３回： 地域包括支援センターの役割と地域支援
第１４回：地域包括ケアシステムの概要と多職種連携

第１５回：認知症の理解と認知症対策 定期試験
スクーリングでの学修内容 授業計画に提示した第 1 回～15 回までを網羅した内容を学修する。
教科書 指定しない
参考文献 ・人口減少社会のデザイン　東洋経済新報社　　ISBN978-4-492-39647-6 ・高齢者福祉論　ミネルヴァ書房　ISBN978-4-623-08315-2 ・高齢者福祉論　－介護保険制度の理念・意義・課題―　東洋経済新報社 ISBN978-4-492-70155-3 ・認知症の理解　介護福祉士養成テキストブックＩＩ本間昭編　ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-06527-1
学生に対する評価 スクーリング評価（２５％)、レポート評価（２５％)、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。